

長池駅前公用地活用検討 ワークショップニュース

Workshop news

Vol.
02
2024.2

公用地活用を考える第2回ワークショップを開催しました！

長池駅前の公用地の活用方法等を検討するワークショップを令和6年1月20日（土）に開催しました。

前回のワークショップで出し合った長池駅周辺での過ごし方などを踏まえ、「長池駅前を活用するシミュレーションをしてみよう」をテーマに、3つのグループに分かれて意見交換を行いました。

当日は、第1回に参加できなかった方も含め、12名の方々に参加いただき、公用地の活用に向けて意見が活発に交わされました。



第2回の概要

■日時:令和6年1月20日(土)14~16時

■場所:長池公会堂

■プログラム

○前回のワークショップのふりかえり

○情報提供

市民が関わる使い方をしている広場の
事例紹介

○意見交換

～長池駅前を活用するシミュレーションを
してみよう～

○グループごとの内容発表



各グループで地図を囲んで
意見を出し合いました



意見交換の内容を発表してもらい、
グループ間で共有しました



駅前の公用地の活用について考えています



ワークショップの内容

テーマ：長池駅前を活用するシミュレーションをしてみよう

公用地を中心とした図面を使って、周辺施設などとの関係や広場として活用するためのあり方等についてグループに分かれ意見交換を行いました。

意見交換の内容は、前回同様各グループから報告してもらい、全体で共有しました。

様々な意見を出していただくなかで、「子どもから大人までが立ち寄れる場所」「人が集まる目的がある場所」「周辺のお店や施設とのコラボや連携により、長池をより知ってもらえる場所」「情報発信、情報交換ができる場所」といった意見が出されました。



グループBの意見

■広場の位置づけ

○来てほしいターゲット

- ・子育て世帯・ファミリー層→周辺のお店を使ってもらうきっかけにする
- ・常に人が集まっている、利用している状況が、アルプラザの帰りなど前を通る人の目に入る
- 周辺との連携、拡がりの仕掛けになるように
 - ・周辺のお店利用にもつながる仕組み・クーポン
 - ・地域が盛り上がるように特産品の紹介、PR

■広場に求める設備など

- ・必要な設備：水、電気→植物の手入れなど、街灯（適切な明るさ）
- ・周辺の民家への配慮（騒音、人目が気になるかも）
- ・低管理で使える施設、設備



■広場の使い方（あり方）で重視したいこと

○災害時に落ち着いて集まれる

- ・長池一帯は沼地→地盤は大丈夫？
- ・ベンチ→炊き出し
- ・伝言板→地域情報 昔っぽい感じでチョークで記入
- ・地域の防災の拠点として、コンロに使える、ベンチ等を作り実際に使う
- ・ラジオステーション：時間放送、音楽イベント、リラックス音楽、商店街のCM、災害放送

○地域の特産品を紹介・PR→地域の産業が盛り上がるように

- ・奈良街道に面するよう市に買収してもらおう
- ・しょうぶ、カラー、イチジク、特産品の出店観光
- ・長池の歴史を知る（楽しく）催しを開く
- ・広場を起点に長池めぐり（ツアー）を開催する
- ・長池地域の特産品を紹介し、その活用をみんなで考える会を開く

○地域のイベント・発表の場になる（音楽やダンスなど）

- ・運動公園とのすみ分け→運動公園：大々的なイベントを頻繁に開催
- ・ダンス発表 今は駅前で→公用地で出来れば…
- ・音楽ダンス等の発表会を開く（太陽のもとで）
- ・城陽市の食を集めたイベントを開く
- ・昔遊び、ゲーム等をみんなで楽しめるイベント

○地域の交流、情報交換、発信ができる

- ・電車の本数が少ないので、待ち時間にお茶を飲めたり、軽く食事ができたりするところがあれば
- ・交流：自治会、防災防犯、高齢層、子ども会、ワークショップ、環境、福祉セミナー
- ・子どもたちからお年寄り、皆が交流できる場
- ・スケボー等子どもたちが身近に遊べるスペース
- ・みんなが親しめるネーミングをする（広場に）
- ・話し合いスペースは屋根（簡易）がある
- ・平日でもキッチンカー、テント出店が利用できる





グループAの意見



■広場の位置づけ

- ・人が集う目的をつくる
- ・バラエティにとんだ場で固定しない
- ・長くいてもらうためにバランスよく多目的に
- ・いいまちだねという雰囲気を感じられる
- ・地域の人が自由に使える場所
- ・地元の産品、文化を楽しめる
- ・普段もイベントを楽しめる
- ・あまり広範囲ではないなかでの拠点
- ・梅、お茶畑…めぐる
- ・歩こう会
- ・ここから長池散策ツアー

■広場の使われ方（あり方）で重視したいこと

○ヒト

- ・若い人たち：子どもや親、家族連れ
- ・お年寄りの方々、住んでいる人
- ・イベントについてこれない人、関心のない人
- ・学校の違う友達
- ・学生さん

○モノ

- ・芝（人工芝でもよい）
- ・屋根のある場所
- ・机とイス、ベンチ：長くつなげられたり、動かせたりするとよい
- ・室内がよいが…風よけになるものもほしい
- ・中が使えるコンテナ設置を考えてほしい
- ・電気、ソーラー
- ・情報板
- ・遊具
- ・万博の木のリングを解体後、椅子にできないか？

○コト

- ・ランチ会
- ・即売所（特産物）
- ・季節ごと、年4回、第〇週など定期的に開催
- ・おこしやしてを引き継ぐ（3、6月）
- ・勉強、コミュニケーション
- ・話す、お茶会、水出し碾茶ふるまい
- ・ラジオ体操
- ・子どもに教えてあげる
- ・神社の御旅所
- ・避難訓練、炊き出し食べる

グループCの意見



■広場に求める設備など

- ・屋根がほしい、テント風
- ・店が置けるスペース（キッチンカーなども含め）
- ・隣地への配慮が必要
- ・車の進入なしの場
- ・水場、電気があるとよい
- ・パンフレット、情報板の設置

■広場の使われ方（あり方）で重視したいこと

○情報の提供

- ・長池の中心として表現できる広場
- ・地域の情報発信の場所とする
- ・地元から離れている方が地元に戻った時に集える場所
- ・墓参りの時に地域の人と話をしたい
- ・若い人や外国人が、地域のことを教えてもらえる（地域が伝える！）
- ・有線放送、コミュニティFM（行政の支援も）
- ・宿場町として人を集められるか

○運営組織

- ・ボランティア活動で組織化のことも必要
- ・「地域として支え、つくり続けていく」
- ・運営委員会のあり方も重要

○芝生広場・屋根（雨、日ざししのげる）

- ・楽しく人が集まる場所を目的とする
- ・日替わりテーマのカフェ
- ・子どもから高齢者までがここに来たらコミュニケーションが図れる場所
- ・みんなが楽しめる場に～遊んだり、おしゃべりしたり、食べたり、活動できる、本を読んだり、音楽を楽しむ
- ・平日はみんなが集まる場所、子どもからお年寄りまで
- ・地下水が豊富。しょうぶ園があった。水際も活かす



○イベント（ex：楽市楽座）がしやすい

- ・市内の福祉事業所で作っている製品を売るマーケット
- ・商品が一点からでも出店できるフリーマーケット
- ・休日はマルシェ的なイベント（整地、芝生広場）

ふりかえりアンケートの内容



各回の終わりに参加者の皆さんに、その回で言い足りなかったことなどをふりかえりアンケートに記入いただいています。その内容の一部についてご紹介します。

■広場に関わる人・使う人の巻き込み方

地域の人以外もまきこんでイベントをする場合は、城陽市以外の人でもイベントのサポーター側になってもらってその人に友人などを来るように誘ってもらうのもありかもしれないと思いました。

高校生の方のお話にあった地域のつながりをどう進めていくか、考えていきたいです。前向きな意見をありがとうございます。

活用方法と併せて「運営委員会」のようなものの存在が大切だと思いました。

■検討の進め方について

今後ワークショップがどのような筋道をはっきりしてもらえるとありがたい。

短期利用の中で、次の段階利用ができやすいように検討してほしい

■周辺施設との連携

五里五里公園とのイベントコラボするのいいのではないのでしょうか？

アルプラザ城陽との連携を考えたらどうでしょうか。大規模商業施設との連携例がありましたら教えてください。

■広場の使い方について

とにかく集まるようにすること。近くの名所も含めてツアーを組む

キッチンカーだけでなく、地元の商店の方もでてもらって、地元も潤うといい。秋、冬一年を通したイベントをという声は他でも多く聞きます。

■他地区の広場の事例

具体的に活用をされているほかの地域の資料はとても参考になったので、とても良かった。

ほかの地域の進んだ取り組みから今後さらに学びたい。



次回のご案内

第3回ワークショップは右記の日程で開催します。最終回となりますが、「参加してみたい」という方がおられたら、ぜひお誘いいただき、城陽市都市政策課までお問い合わせ・お申込みください。（下記の発行欄の連絡先までよろしくお願いたします。）

■第3回：令和6年2月17日（土）14～16時

場所：長池公会堂

テーマ：長池駅前を魅力的にするツールを考えよう

「具体的な使い方」のために、あるいは、長池駅前をより魅力的にするためのツールを考えてみましょう。

発行

城陽市 都市整備部 都市政策課 駅周辺整備係
TEL:0774-56-4070 Mail:toshiseisaku@city.joyo.lg.jp

